

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.9

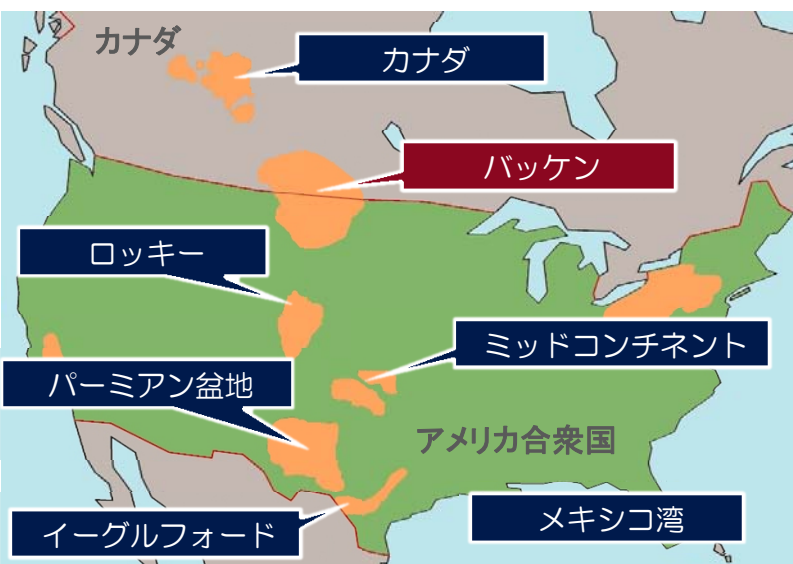
シェール革命で活気づくノースダコタの街

シェール革命にわく米国の中でも特に話題になっているのが、北米最大の石油鉱脈があるノースダコタ州です。米エネルギー省によると、同州の産油量は過去4年間で約3倍以上に増加。今年7月には前年比21.4%増の82.1万バレル/日となり、過去最高を更新したそうです。また、シェール関連事業による雇用創出効果は大きく、同州における8月の失業率は全米で最も低い水準の3%となりました。

ノースダコタ州の中で最も有名な油田「バッケン」は1951年に発見され、その土地の所有者だったバッケン氏の名前にちなんで命名されたと言われています。米地質調査所が2013年に発表したレポートによると、バッケンの技術的可採埋蔵量は推定74億バレルで、今後米国の産油量をけん引することが期待されています。バッケンで産出される原油などは、主に鉄道を使って運搬されていますが、今後はパイプライン網を拡大する計画も立てられています。

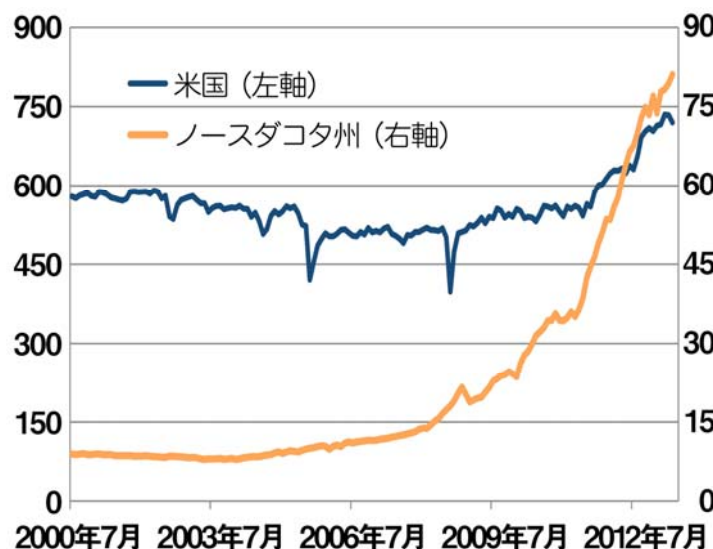
今やノースダコタ州の名物はオイルとなり、「バッケン・シェール」と書かれたTシャツや帽子が土産物屋で売られているとのこと。このように一部の地域にスポットを当てるだけでも、シェール革命がさまざまな波及効果を生み出しているのがわかります。

北米の主な油田



(出所) ブレインズ・オール・アメリカ・パイプライン・コーポレートLP

1日当たりの原油産出量(単位:万バレル/日)



(出所) 米エネルギー省 2000年7月～2013年6月

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)(が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号:110252.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.